

担当分野	自然災害と防災	委員名	小内 透	
	資料頁数	3 5	資料数	1 5

I 期 戦後改革・ 制度整備期 ( ' 45 ~ ' 55 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1952 年十勝沖地震：●北海道十勝支庁『十勝沖地震の記録』1954 年、pp.1-36</li> <li>・ 1954 年洞爺丸台風・事故：●青函船舶鉄道管理局『洞爺丸台風海難誌』1965 年、pp.73-82、pp.292-296、pp.301-304</li> </ul>
II 期 高度成長期 ( ' 55 ~ ' 75 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1956 年冷害：●北海道総務部総合開発企画本部企画課編『昭和 31 年北海道冷害誌』北海道、「教育対策」(pp.457-469)、「いわゆる人身売買対策」(pp.476~484)、●北海道『昭和 31 年度冷害による農業被害概況(9 月 15 日現在)』1956 年、21 の 1~23 の 2、●北海道開発局局長官房開発調査課『北海道冷害史の研究——北海道における冷害の実態と対策』1959 年、pp.82-95</li> <li>・ 1960 年チリ地震津波：●中央防災会議「災害教訓の継承に関する専門調査会」報告書『1960 チリ地震津波』2010 年、pp.1-3、●北海道『チリ地震津波による被害及対策の概況(その一)(昭和 35 年 5 月 26 日現在)』1960 年、pp.1-5</li> <li>・ 1962 年十勝岳噴火：●北海道新得保健所『十勝岳噴煙関係』1966 年、pp.1-8、</li> <li>・ 1968 年十勝沖地震：●北海道浦河保健所『一九六八年十勝沖地震対策関係綴 昭和四十三年』1968 年、pp.1-21</li> </ul>
III 期 低成長期あるいは安定成長期 ( ' 75 ~ ' 95 )	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 1977 年有珠山噴火：●東京大学新聞研究所編『地震予知と社会的反応』1979 年、「有珠山噴火の経緯」(pp.310-314)、「避難命令の発令から解除まで」(pp.315-326)、●北海道開発局室蘭開発建設部編『1977 年有珠山噴火に関する資料』1978 年、pp.4-14</li> <li>・ 1981 年石狩川洪水(台風第 12・15 号)：●「史上最大の昭和 56 年洪水とは」石狩川振興財団『川と人』Vol.34、2011 年、pp.5-12、●江別市教育研究会小・中国語部会編『水害 水害体験作文集』1983 年、pp.15-17、35-38</li> <li>・ 1993 年北海道南西沖地震：●北海道南西沖地震記録書作成委員会編『平成 5 年 7 月 12 日北海道南西沖地震記録書』1995 年、pp.199-202、221-223、261-269、●奥尻町立奥尻中学校生徒会『北海道南西沖地震生徒文集 夜明け 1993 夏の日の記録』1994 年、pp.57-58、●北海道奥尻高等学校『北海道南西沖地震記録集』1994 年、pp.14-15、●今井雅晴『津波に襲われた島で 北海道奥尻高校 3 年生と担任の記録』高文研、1995 年、pp.58-64、82-88、154-164</li> </ul>

<p>IV期 構造改革期 ( '95~'03)</p>	<p>・2000年有珠山噴火：●有珠山噴火災害聴覚障害者対策本部『有珠山噴火災害聴覚障害者支援活動の記録』2001年、p.24、pp.94-96、pp.103-105、pp.111-112、pp.116-118、●菊池征児編『有珠山噴火避難者を守れ』北海道・豊浦小学校、2000年、pp.8-30、●伊達市・虻田町・壮瞥町・豊浦町・洞爺村・北海道「有珠山火山防災マップ」1995年、○国立研究開発法人防災科学技術研究所「火山ハザードマップデータベース」（北海道のみ抽出予定）</p>
<p>通史</p>	<p>・冷害：●丹野久「冷害の発生と対策」『北海道の米づくり』2011年版、pp.209-211</p>